

食育体験サロンin河和田



里山の荒れ果てた田んぼから出発した「食育体験サロン農場」も収穫の秋が過ぎ冬ごもりの季節になりました。お盆に蒔いた1kgのそばの種が花開き、19kgの実を結びました。12月14日には、畑の大根やねぎ、それと尾花の名水を使った楽しいそば打ち大会で地元のみなさんとも交流ができ、2年目に向けた新たな一歩が始まりました。今後ともよろしくお願ひ致します。

そば物語

8/17 そばの種まき



10月のそば畑の風景

さつま芋の収穫の日、ときどきやってくるやぎと仲良く、そば畑で交流です。



11/2 そばを手刈りで収穫し、乾燥のためハサガけをしました。乾燥のあと脱穀です。



少々太くつても手打ちは最高！辛み大根もうまい！



みんな真剣…。500gのそば粉につなぎが100gで10人前です。なんと200人分のそばを打ちました。



えちぜんカンタケ

11月に定植した菌床からカンタケがによきによき！美味しかったよ！



丹精込めた大豆

収穫が天候に左右されるため最後になってしまった大豆は丁寧により分けていただきました。

農作業は、収穫の喜びやおいしい実りをいただくについ楽しいことばかり思い出されますが、夏の日の草刈で虫に刺されて唇まで腫れ上がったことや、あやうきぐり腰になりかけたり、いろいろなことがありました。一言で地産地消とか、自給率の向上といっても、私達一人一人が農業を考え、食生活を考え行動することが問われています。くらなびでは今後も通年型の「食育体験サロン」の取り組みを通して、生活者としての暮らし方を提案していきます。ご支援のほどよろしくお願ひ致します。